

国際規格の動向—国際会議に出席して— 須賀茂雄

ISO/TC42/WG5(写真/画像の保存性)アメリカ・ワシントン D.C.国際会議

開催日:2017 年 11 月 13 日～16 日

場所:The National Archives(アメリカ・ワシントン D.C.)

参加国:ベルギー、アメリカ、スイス、オランダ、日本 5ヶ国 21 名

当社から須賀、喜多の 2 名が参加した。当社に関する審議について報告する。

・ISO 18937(イメージング材料—現像済み写真印画紙—屋内光の安定性の測定方法)

Edition3 については、パート制になり Part 1 の通則が進展していないため、Part4 の LED についてメインで話し合った。須賀から LED について種類の提案あった。Wilhelm 氏から LED を使ったサインボードのプリントについて報告があり、SORAA 製の LED と F6 の試験結果を説明した。芝原氏から LED の分光放射照度情報や経時変化等の記載、一般用途(ISO18937)か、美術館用途(ISO18950)かで LED を分けるなど、提案があった。次回の東京では、Part4 の WD について議論する予定。須賀を Co PL として規格化を進めることになった。



会議風景

次回は、2018 年 6 月 4 日～7 日、東京(スガ試験機 本社)で開催予定。

IEC/TC104(環境条件、分類及び試験方法)東京国際会議

開催日:2017 年 12 月 12 日～15 日

場所:日本規格協会

参加国:【MT16】アメリカ、ドイツ、スウェーデン、中国、日本 5ヶ国 11 名【MT18】アメリカ、ドイツ、スウェーデン、中国、韓国、フィンランド、日本 7ヶ国 12 名

当社から須賀、喜多の 2 名が参加した。当社に関する審議について報告する。

【MT16】

(1) IEC 60068-2-52 (塩水噴霧サイクル試験)は改正発行された(PL 須賀)。今後、データを集め、より精度の高い試験方法に改良したい意向を説明した。

(2) IEC 60068-2-11 (塩水噴霧試験方法)は、改正が廃止か検討した。廃止した場合、IEC に塩水噴霧試験の規格がなくなるため改正することとし、PL は、須賀が担当し、次回会議までにドラフトを準備し話し合う。

【MT18】

・IEC 60068-2-5 (地上レベルでの擬似太陽光線放射及び太陽光線放射試験と耐候試験の指針)は、コメントについて議論し、すべて受け入れられた(PL 須賀)。反対コメントがないため、FDIS をスキップし、発行に進める。



会議風景

次回は、2018 年 10 月 8 日～11 日、開催場所は未定。

ASTM D01(塗料)、G03(非金属材料)アメリカ・ニューオリンズ国際会議

*喜多英雄

開催日:2018年1月22日～26日

場所:Sheraton New Orleans

参加国:【D01】アメリカ、日本 2ヶ国 25名

【G03】アメリカ、日本 2ヶ国 25名

当社から喜多が参加した。当社に関する審議について報告する。

【D01.27TG】

ASTM D7869(Standard Practice for Xenon Arc Exposure Test with Enhanced Light and Water Exposure for Transportation Coatings)は、RRTを計画し、約2か月行う予定。塗装板の付着力試験、評価、ブラックパネル温度制御と試験片温度の関係、試験片へのスプレ水量について議論した。喜多よりCIE No.85(太陽光の分光放射照度)の改正状況について報告した。

【G03】Seminar on Current Topics in Weathering Science and Technologyで喜多がISO提案中の分光老化試験方法について試験方法の説明と、結果について報告を行った。またASTM G151 Standard Practice for Exposing Nonmetallic Materials in Accelerated Test Devices that Use Laboratory Light Sourcesは、改訂作業中で、試料面受光すべきという内容を追加することについて協議した。協議を今後も継続する。



会議風景

次回は、2018年6月24日～26日、アメリカ・フェニックスで開催予定。

*校正部 部長

ISO/TC107(金属及び無機質被膜)フィンランド・レヴィ国際会議

開催日:2018年1月23日～26日

場所:Congress & Exhibition Centre Levi Summit, Levi, Finland

参加国:韓国、フィンランド、中国、日本 4ヶ国 21名

当社に関するSC7(腐食試験 1月25日開催)の審議について報告する。

国際幹事の須賀が議長代理としてSC7会議の進行役を務めた。

・Russian Mud corrosion Test

韓国より、冬季のロシア地域における自動車のクロムめっき装飾の腐食に関して、融雪剤のCaCl₂を含んだ泥による試験方法のプレゼンテーションがあった。韓国はISO提案書類とWDを準備することになった。



ISO/TC107 メンバ



ホテルから徒歩 30 分の湖上に現れたオーロラ

次回は、2019年2月24日～28日、韓国で開催予定。

< ISO 規格発行までの手順 >

予備段階	PWI	Preliminary Work Item (Project)
提案段階	NP	New Proposal for a work item
作成段階	WD	Working Draft
委員会段階	CD	Committee Draft
照会段階	DIS	Draft International Standard
承認段階	FDIS	Final Draft International Standard
発行段階	IS	International Standard

PL:プロジェクトリーダー Co PL:共同プロジェクトリーダー

RRT:ラウンドロビンテスト